

公益財団法人 高知県人権啓発センター 季刊誌

# こころん だより

2021  
冬号  
Vol. 19



こころん



特集1

12月4日～10日は人権週間です  
～一緒に考えよう人権のこと～

特集2

こころんの  
社会見学

被害者も加害者も出さない社会へ  
～「命の大切さを学ぶ教室」の取り組み～

表紙写真: 高知県警察シンボルマスコット ポリンくんとポーリーちゃん  
(高知県警察本部)



# 12月4日～10日は人権週間です ～一緒に考えよう人権のこと～

高知県「人権週間」特設ホームページ ▶ <https://www.kochi-humanright.jp/>



一人ひとりの心に 人権

**人権週間**  
2021 12/4 SAT 10 FRI

人は誰でも生まれながらにして  
幸せになる権利をもっています。  
一人ひとりが幸せに生きていける。  
人が人を思い、人と人がつながっていく  
人が人をつなぐ思いやりのある高知へ

高知県「人権週間」  
特設ホームページ

- ・マンガ動画で知る「人権のこと」
- ・人権メッセージ動画
- ・人権作文コンテスト受賞作品紹介
- ・高知県「人権週間」オリジナルソング「きずなうた」ミュージックビデオ
- ・「きずなうた」楽譜ダウンロード など

高知県人権週間特設ホームページ 検索

SNSでも  
情報発信中!

## ご存知ですか? 「人権週間」

国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会で世界人権宣言を採択し、その日を記念として12月10日を「世界人権デー」と決めました。

すべての加盟国及び関係機関が人権擁護活動や人権に関する諸行事を行うことを推進しています。

日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及を図るため、全国的な人権啓発活動を行っています。

## 高知県「人権週間」特設ホームページ コンテンツ内容

私たちのまわりにある様々な人権課題について関心を持ち、理解を深めるきっかけとなりますよう、ぜひこの特設HPをご利用ください。

- 人権マンガ動画
- 「きずなうた」県民リレー動画
- こころん紙芝居
- SNS取材記事「こころんが行く」
- 人権作文コンテスト受賞作品紹介
- 人権メッセージ動画
- 人権啓発ムービー
- 相談窓口紹介 など

## 私たちに身近な 11の人権課題

- |         |     |        |                |          |
|---------|-----|--------|----------------|----------|
| 同和問題    | 女性  | 子ども    | 高齢者            | 障害者      |
| HIV感染者等 | 外国人 | 犯罪被害者等 | インターネットによる人権侵害 | 災害と人権    |
|         |     |        |                | 性的指向・性自認 |

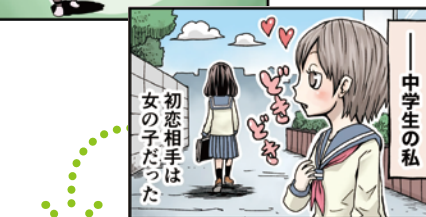


## コンテンツピックアップ① マンガ動画と マンガパネルで人権を考える

身近な11の人権課題について紹介するパネル「マンガで知る「人権のこと」」シリーズが動画になりました。マンガパネル(B1サイズ)の貸出も引き続き行っていますのでぜひご利用ください。



絵と音声で  
楽しめる  
マンガ動画



## コンテンツピックアップ② たくさんの皆さまからの 人権メッセージ動画

高知県になじみのある各分野の方から人権に関するメッセージを寄せていただきました。



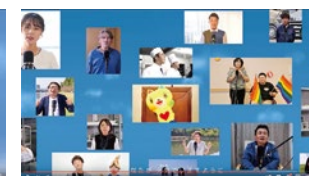
【出演】  
小松 沙季 (パラリンピック競技カメラ)  
ソーライズ (お笑い芸人)  
別府 真衣 (高知競馬騎手) 他



## コンテンツピックアップ③ 県民がリレーで歌いつなぐ 「きずなうた」

高知県「人権週間」オリジナルソング「きずなうた」(作詞作曲: う～み)を県民の皆さんが、大切な人への想いをこめて歌いつなぎます。

「きずなうた」の楽譜、コード譜がWEBサイトからダウンロードできますので、合唱や演奏にご活用ください。



## きずなうた 作詞・作曲 う～み

拝啓 お元気ですか しっかり食べてますか たまには息抜きしてますか  
心配ごとのない 世の中になったら ほんまにえいね はよこんかね

くらべると相手のほうが よく見える なんちゃ なんちゃ なんちゃ  
人は人 自分は自分

\* あなたが元気のように あなたが笑っていますように  
明日が晴れますように いつも願っています 大切な人

拝啓 だいぶん寒くなりました そちらはどうですか 年末は  
無理はせんでいけど 帰れそうだったら 帰ってきいや 待ちゆうき

誰だって一つや二つ 言えんことはある なんちゃ なんちゃ なんちゃ  
かまん上等 これでえいがやき

\* (3回くりかえし)

これらの動画は、高知県「人権週間」特設ホームページの他、  
高知県人権啓発センターYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。



SNSでつながろう!  
特設HPの紹介や  
人権啓発の情報を随時発信



Facebook



Instagram



YouTube

フォローやチャンネル登録をお願いします!

この記事に関するお問合せ  
(公財)高知県人権啓発センター  
☎088-821-4681



# こころん 社会工学

## 被害者も加害者も出さない社会へ ～「命の大切さを学ぶ教室」の取り組み～

「命の大切さを学ぶ教室」は、犯罪被害に遭われた方の講演などを通して命の大切さや他者を大事にする心を育み、被害者も加害者も出さない社会を目指す警察庁の取り組みです。全国で中学生・高校生を対象に行われており、本県では高知県警察本部が中心となって要望のあった学校に出前授業を行っています。この活動について、こころんがお話を聞きました。



◀ お話してくれた人  
高知県警察本部  
被害者支援室  
若藤 奈美 さん



「命の大切さを学ぶ教室」出前授業の様子  
写真左から県立中村高等学校、県立高知丸の内高等学校、大豊町中学校

### 中・高校生を対象に 被害者の思いに触れる授業を実施

「命の大切さを学ぶ教室」は、警察庁の「社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり」に向けた施策の一つです。H23年度から全国で実施されていますが、高知県ではそれに先駆けH20年度から開催されてきました。

この教室では、犯罪の被害に遭われた方や警察職員が中学校や高校を訪れ、体験や思いを直接生徒たちに語りかけます。被害者の方の思いや現状に触れることで自分自身はもちろん他者を大切にすることを育み、一人ひとりが犯罪をおかしてはいけないという規範意識を高めると同時に、被害に遭われた方を思いやることのできる社会にしていけることがその目的です。

### 誰もが大切な存在で、大切な命

講師としてお話し下さるのは、事故や犯罪によってご家族を亡くされた当事者の方などで、県外から招聘しています。

飲酒運転で子どもさんを亡くされた親御さんは飲酒運転がゼロになる社会をつくりたいと、また事件で子どもさんを亡くされた方は相手を大切にすることを覚えてもらいたいなどと講演に込められた願いはそれぞれですが、共通するのは「子どもたちを被害者にも加害者にもしたくない」という思い。そしてどの方も、「あなたたちは一人ひとりが大切な存在なんだよ」「生まれてきてくれてありがとう」と大きなメッセージを伝えてくださいます。



R2年度 文部科学大臣賞 県立嶺北高校 朝倉さん(中央左)  
警察庁犯罪被害者支援室長賞 大豊町中学校 佐藤さん(中央右)

### 発見こころん

警察庁「大切な命を守る」全国  
中学・高校作文コンクールで、  
高知県からはこれまで何度も受  
賞者が出ているんだって！



### 被害者の思いが生徒たちを動かす

一つ、とても印象に残っている場面があります。飲酒運転による交通事故で高校生の息子さんを亡くされたお母さんが、ある高校で講演くださった時のことです。当時息子さんが乗っておられた自転車を展示して講演の最後に生徒さんたちに見てもらっていたのですが、その時一人の男子生徒が、メモ用紙で折った折鶴を講師の方に黙って差し出したのです。

言葉はなくとも、つらい思いを抱える母親へのいたわりの気持ちや、語ってくれたことへの感謝、そして自分たちもルールを守って生きていきますという決意が伝わってきて、講師の方も「ありがとう」と微笑み返されていた様子に胸を打たれました。

### 一人ひとりを大切にする心が 事故や犯罪のない社会への一歩に

警察で事件の支援にあたっていると、問題を抱えている子や自己肯定感が低い子どもが多いことに気づきます。また、ささいなことで加害者や被害者になってしまう現実があります。

これくらいいいだろうという気のゆるみが、自分だけでなく相手の人生をも大きく変えてしまうこと、自分や友達はもちろん、ふとすれ違う知らない人もみんな誰かの大切な人なのだという。それを理解してほしいと思います。一人ひとりを大切にする心が、被害者も加害者も生まない社会につながるはずです。

### 犯罪被害に関する高知県警察の相談窓口

- 性犯罪被害相談電話全国共通ダイヤル ☎#8103 (24時間対応)
- レディースダイヤル110番(女性被害相談) ☎088-873-0110 (24時間対応)
- 犯罪被害者ホットライン(心の悩み等) ☎088-871-3110 (平日 8:30~17:15)
- ヤングテレホン(少年被害相談) ☎088-822-0809 (平日 8:30~17:15)



### 参加生徒たちの声 (振り返りシートより抜粋)



生活を送っていく中で、自分自身が事件、事故の被害者、加害者になってしまう恐れがあることを意識していきたい。命は二度と戻らない。

今、当たり前だと感じている日常が一番幸せなことだと知れた。一日一日を大切に、周りの友達や家族も大切に生きていこうと感じた。

悪口により不登校になって転校した友達がいる。私は悪口を注意することしかできませんでした。今でも辛い思い出です。その経験を持つ私には、目の前にある幸せに感謝してほしいという言葉がとても心に刺さりました。



ルールを守ること、  
自分も相手も大切にすること、  
こころんも実践していくよ！

### 高知県警察本部 警務部 県民支援相談課 被害者支援室

住所／高知市丸ノ内2丁目4-30 TEL／088-826-0110(代表)

高知県警察本部の「命の大切さを学ぶ教室」は県内の中学校・高等学校を対象に無料で実施されており、犯罪の被害に遭われた方のお話を聞く授業と、警察職員が講師になる授業の2種類がある。  
お申し込み・お問合せは、「被害者支援室 088-826-0110(代表)」まで。



2022年

1月23日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～

令和3年度 人権啓発研修 第3回ハートフルセミナー

## 講演会「『注文をまちがえる料理店』のこれまでとこれから」

参加費無料  
定員100名(予約優先)

講師

おぐに しろう  
小国 士朗 さん  
(株式会社小国士朗事務所 代表取締役)

会場

高知県立人権啓発センター  
6階ホール

講師紹介

2003年NHKに入局。ドキュメンタリー番組を制作するかたわら、200万ダウンロードを記録したスマホアプリ「プロフェッショナル 私の流儀」の企画立案や、世界1億回再生を突破した動画を含むSNS向けの動画配信サービス「NHK1.5チャンネル」の編集長の他、個人的プロジェクトとして、世界150か国に配信された、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」などを手がける。2018年6月NHKを退局後、フリーランスのプロデューサーとして活動。

上映会

2月20日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～

令和3年度 人権啓発研修 第4回ハートフルセミナー

## 映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」上映会

会場

高知県立人権啓発センター6階ホール 参加費無料 定員120名(予約優先)

〈作品紹介〉

母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。  
カメラを向けて初めて気づいた。両親がお互いを思い合っているということ。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファインダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…。

上記については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または内容を変更する場合がございます。

お申込み・  
お問合せ先公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝祭日を除く)  
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp【申込方法】 電話・FAX・Eメールなどで、希望するハートフルセミナーの回と以下の情報をお知らせください。  
氏名/参加人数/代表者の連絡先(日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

## じんけんライブラリー情報

「じんけんライブラリー検索」はこちら  
所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。  
http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/じんけんライブラリーでは、  
図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)やDVD・VHS、  
人権啓発パネルの貸出を行っています。

新着DVD紹介

ハラスメント対峙(退治)・心の視野をひろげて  
お互いを活かし合うための人権シリーズ⑤  
(27分/東映教育映像部)  
コミュニケーションのあり方を“心の視野を広げる”と呼び、働く場でハラスメントを生まないため、対峙(退治)するための新しいヒントを、さまざまなグレーゾーン事例から紹介。シリーズ映像で見る人権の歴史  
第8巻 ひとと皮革の歴史  
(19分/東映教育映像部)どう防ぐ?児童虐待 ～体罰は必要なのか～  
(21分/株式会社)

図書紹介



★読み聞かせにも。おすすめ絵本

ゲーチョキパーのうた

趙博(文)/長谷川 義史(絵)(解放出版社)

ゲーもちょきもパーも強くも弱くも勝ったり負けたり。人もおんなじ! 後ろ見返しに楽譜と歌詞が掲載されているので、歌いながらページをめくる楽しさ。

発達凸凹なボクの世界―感覚過敏を探検する―  
(子どもの気持ちを知る世界③)

プルサルハ(著)/細尾 ちあき(お話と絵)

北野 陽子(解説)(ゆまに書房)

不登校や家庭不和、発達のかたよりなどの理由で、元気でいらなくなってしまった子どもたちが、「私は大丈夫」と感じられるよう、生き生きと過ごすことができるようになるきっかけを願って作られたシリーズ。

## 第2回 ハートフルセミナー

講演会「インターネットと人権  
～ネットで被害者にも加害者にもならないために～」を行いました実施日: 令和3年10月24日(日) 14時～16時 / 参加者: 47名  
講師: 石川千明さん(NPO法人奈良地域の学び推進機構 理事)  
会場: 高知県立人権啓発センター6階ホール

貸出しています

講師お勧めの本

『こども六法』

山崎 聡一郎(著)/弘文堂

『こども六法ネクスト』

おとなを動かす 悩み相談クエスト

山崎 聡一郎(監修)/小学館



ゲームやweb企画制作、子育て支援、学校支援、また京都府県警ネット安心アドバイザーなど様々な経験から、子どもたちのリアルなネット環境状況を踏まえたネットトラブルの現状と対策を解説。子どもたちをネットで被害者にも加害者にもさせないために、大人は真っ先に「相談できる場所」であり、相談されたら暴走せず「傾聴する」ことを大事にしてほしい、「ネットのトラブルは使う側の心の問題でもある」と話されました。ネットを身近ではないと感じている大人にとっても大変わかりやすく、多くの方に聞いていただきたい講演会でした。

## ふりかえりシートより

- 子どもがネットをリアルと思っていること、「知らない人」がネット上のつきあいで「友だち」となることに驚きました。また、ネットのない子ども時代を過ごした私には想像できなかった世界に我が子が生きていることを教えていただきました。
- 子どもを見ないでスマホを見ている親、ドキッとする人は多いはず。私も配偶者を見ずスマホを見ながら話をする日常でした。大きな気づきが…。
- ネットをめぐるトラブルが多いことで、ネットは「悪」というように、ネットを便利に使っていない我々が決めつけている部分もあったと思う。今も昔も何かトラブルが起きる時、ツール等の問題だけでなく、一番は「人の心」だと思った。

## スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業

## 高知ファイティングドッグス冠協賛試合を行いました

実施日: 令和3年9月22日(水) 18時～  
場所: 高知市営球場 / 来場者: 195名

## 来場者の声より

- スポーツ界でも人権問題に関わるテーマはたくさんあると思います。今日は野球以外にも人権について考える一つの機会をもらった気がしました。来年も楽しみにしています。
- 毎年、この企画を見るたびに気持ちを新たにします。これからも続けてください。



## 期間延長!

## 令和3年度人権ふれあい支援事業について

4団体への助成が決定しましたが、予算残にあわせて追加募集を行います。

【事業区分】 次の区分により申請を受け、支援対象事業及び支援金額を決定します。

区分	支援金額・支援率
① 申請金額が5万円以下の事業	全額(支援対象外経費を除く)
② 申請金額が5万円を超える事業	1事業当たり上限20万円/支援対象経費の80%以内

★5万円以下の事業については全額(支援対象外経費を除く)を支援します。  
人権メッセージや人権標語を入れたイベントポスター作成など、様々な事業にご活用ください。「事業実施要領」及び申請書はホームページよりダウンロードできます。  
詳細をご確認の上、申請書を郵送またはご持参ください。高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間の団体等が人権意識の向上を目的とした事業を行う場合、その経費について予算の範囲内で支援をしています。  
※令和3年度予算残 974,000円

【支援決定】 審査会の審査を経て、12月中旬に通知します。

【締め切り】 12月10日(金)





## 新型コロナウイルス感染症と人権への配慮について

- 感染された方や医療関係者とその家族等に対する人権侵害につながる誹謗、中傷、差別は絶対にしないでください。また、ワクチン接種は強制ではありません。職場や周りの方などに接種を強制することや接種していないこと等を理由とした差別的取扱いなども決してしないでください。
- 公式発表に基づかない不確かな情報をSNS等で拡散することは慎んでください。また、こうした情報に惑わされないようご注意ください。

## ご利用案内

出張  
します

### 人権研修のための 出前講座 （講師派遣料無料）

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。多彩なテーマやプログラムがあります。



貸出  
します

### 「こころん」の 着ぐるみ・紙芝居 （利用無料）

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行なっています。

オリジナル紙芝居+パペット ▶



6F

### ホール （収容人員 270名 机併用の場合は180名）

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00（年末年始を除く）

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午 前	午 後	全 日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

- 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円
- 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。
- Wi-Fiも利用できます。



6F ホール



5F じんけんライブラリー

5F

### じんけんライブラリー （利用無料）

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始を除く） 9:00～17:00

- 利用方法
- 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
  - 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。（送料は利用者負担）

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



#### 団体図書貸出（こころんブック便）について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



1F 入口看板

4F

### 視聴覚室 （利用無料／収容人員 48名）

人権に関する研修等にのみ使用できます。

「こころん」は高知県人権啓発センターの  
マスコットキャラクターです  
★ 着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ: [www.kochi-jinken.or.jp](http://www.kochi-jinken.or.jp)

Webで情報発信中!



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階  
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: [center@kochi-jinken.or.jp](mailto:center@kochi-jinken.or.jp)  
〈開所時間〉月～金 8:30～17:15（祝祭日・年末年始を除く）